

沼田市が新型コロナウイルス電話相談窓口を開設

市では利根中央病院の看護師3人（18日現在）が新型コロナウイルスに感染したことを受け19日、市長が記者会見をおこないました。

市長は、感染者の状況や行動履歴、濃厚接触者などを報告し、患者や家族に差別の目を向けないことや病院への批判は止めるようお願いし、手洗い、3つの密を避ける、外出の自粛を呼びかけました。

市は20日から医療や健康、経営など新型コロナウイルスについての電話相談窓口を設置しました。

電話番号 25-3038

受付時間 平日の午前9時～午後5時

利根中央病院では、外来診療と入院患者新規受入、救急患者受入を中止しています。



沼田まつりが中止に図書館、望郷の湯、しゃくなげの湯も休館に

今年の沼田まつりは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実行委員会で協議され、開催を中止することに決定されました。



これまで貸し出しと返却はおこなっていた図書館5月6日まで休館となり、望郷の湯が21日から5月6日まで、しゃくなげの湯が19日から5月7日まで休館となり、両施設ともレストラン、農産物直売場も含め利用することができなくなりました。

吹割溪谷に春の訪れをつげる滝開き

吹割の滝開きと安全祈願祭が17日おこなわれ、吹割溪谷に春の訪れがつけられました。

式典は、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け関係者だけでおこなわれました。

利根町観光協会の小尾会長は、「新型コロナウイルスが終息し、にぎわいをとりもどす時まで頑張ろうと」参加者に呼びかけました。



新型コロナウイルスの終息を願って祈願祭

下川田町の摩多利尊神のお堂で19日、祈願祭がおこなわれ、新型コロナウイルス感染の終息を願いました。

この摩多利尊神は、江戸時代後期の文化年間に悪疫が流行した時、遷流寺十四世の隆法和尚が疫病除けとして



西国から勧請されたものといわれています。

ご本尊様は、高さ31呎の石造物で、疫病退散の神様としてふるくから信仰されています。

2020年4月26日

NO. 650

日本共産党 大東のぶゆき議員活動地域後援会ニュース

やまびこ

発行所 沼田市下久屋町983 Tel.23-1519 部内資料



組み替えられた補正予算案は医療や検査への支援拡充は図られず、医療機関への財政支援やPCR検査の拡大、マスクや医療用防護服などの緊急供給など、医療体制強化にさらなる財政支出が不可欠です。

こんにちは。安倍首相は、新型コロナウイルスの感染拡大に対応するためにいったん決めた2020年度の補正予算案を組み替え、決定し直しましたが、国会審議前に大幅に変更するのはかたてない事態で、安倍首相の場当たりのなコロナ対策を象徴しています。1人一律10万円の給付金は盛り込まれましたが、外出自粛や休業要請と一体での補償という考えはなく、感染爆発を止めるという姿勢はみえません。安倍首相が「緊急事態宣言」を発令してから21日で2週間となり、対象は7都府県から全国に拡大され、くらしや営業はいよいよ深刻な事態に陥っており、1回限りの「10万円給付」で終わらせるわけにはいきません。

こんにちは 大東のぶゆき です

続ぶらり散歩 めまた道 利根町あれこれ 特別編その六十

砂川のうばすて伝説

砂川では60歳になると親を背負って山に捨ててにいったそうですが、一人の親孝行の男が、山に捨てずに母親を家に隠していたところ、殿様から「灰で縄をなえ」とのおふれがだされ、息子は母親に教えられたとおりに殿様に出したら、智慧のあることに驚き、その後も殿様から「曲がった木にひもを通せ」、「この木のどっちが本かをいえ」といった難題が出されましたが、男は、母親に教えられた通りに殿様に答えました。



殿様から男は、褒美に何でもやると言われ、男はこれまでのことは母親に教えてもらい、山に捨てることを許してほしいと頼み、殿様は男を許し、それから砂川では高齢者を山に捨てなくなったという話が残っています。

化けもの石

数坂峠を園原にむかって下ってくる途中に、×印が付けられたような大きな石があり、化けもの石とよばれています。

天明の頃、一人の浪人が夜この場所を歩いていると、一人の女性がいて、いっしょに峠を越えてほしいと言われ、いっしょに行くことにしましたが、怪しいと思い後ろから切り付けたら、女性は消え石に×印が残っていたそうです。

